

第二回インフォマティク・バイオマテリアル研究会

13:00 各研究室紹介(各5分)

13:30 口頭発表(発表7分質疑応答3分)

講演番号	氏名	所属大学	講演題目
13:30 O-01	佐々木慶太	東京都市大学	噴射加工によるめっきのエロージョン・はく離現象
13:40 O-02	木村博紀	早稲田大学	駆動安定性を有する超薄型有機太陽電池の作製
13:50 O-03	井田雄太	慶應義塾大学	金属製培養器を用いた熱刺激が殺細胞効果に及ぼす影響
14:00 O-04	大矢貴史	早稲田大学	バイオマテリアルで構成された生体センサの開発
14:10 O-05	北條健太	東海大学	整形外科用材料や循環器用材料への応用を目的としたチタンの表面改質
14:20 O-06	須藤 巧	東海大学	活性酸素および紫外光暴露によるポリジメチルシロキサン表面改質におよぼすパラメータの検討
14:30 O-07	高橋一成	東海大学	活性酸素曝露したポリスチレンのタンパク質吸着特性

14:50 ポスター発表者による1分間のショットガンスピーチ (20分)

15:15 ポスター発表(一組目)(45分)

-16:00 P-01	唐 鳴毅	早稲田大学	静電インクジェット法を用いた溶媒調整による色素増感太陽電池(DSSC)に応用する多孔質TiO ₂ 層の制御法の開発
P-02	荻野 大	慶應義塾大学	S45C鋼への雰囲気制御IH-FPP処理による動的再結晶の生成
P-03	高嶋みなみ	慶應義塾大学	フェムト秒レーザーを用いたチタン表面のレーザー誘起湿式表面改質プロセスの提案
P-04	羽山元晶	慶應義塾大学	疲労特性に及ぼす残留応力の影響のSmith-Watson-Topper法を用いた評価
P-05	本庄奈々	慶應義塾大学	AIH-FPP処理を用いたFe-Al系金属間化合物被膜形成によるS45C鋼表面の耐摩耗性向上
P-06	高桑聖仁	早稲田大学	超薄型基板のナノパターン化による高効率な薄膜有機太陽電池の開発
P-07	須井 翼	早稲田大学	バイタルモニタリング用電極における基礎特性の検討
P-08	鈴木祐哉	早稲田大学	静電インクジェット方式を用いた食品表面上のマイクロ3次元構造の作製
P-09	田村隆行	早稲田大学	ゼラチンフィルムの厚さ制御
P-10	秋山亮太郎	早稲田大学	ゼラチンの材質の違いによる放電加工の形状変化

16:10 ポスター発表(二組目)(45分)

-16:55 P-11	大友春輝	早稲田大学	生体適合性高分子薄膜を用いた心筋細胞組織の収縮力測定系の確立
P-12	藤田真央	早稲田大学	ヒト子宮内膜間質細胞シートの作製条件の検討と灌流培養の観察
P-13	原田慧吾	慶應義塾大学	in vitro三次元悪性黒色腫モデルを用いた周期的圧縮刺激印加培養装置の開発及び浸潤性に及ぼす影響の解明
P-14	竹下 遙	慶應義塾大学	ディッシュ型金属製細胞培養器を用いた細胞培養
P-15	須藤聖朗	慶應義塾大学	過冷却を用いた低侵襲保存デバイスの開発
P-16	秋元溪	早稲田大学	細胞組織内部への灌流デバイスの検討
P-17	馬淵将来	慶應義塾大学	球状の微小筋組織に機械的刺激を印加可能なデバイスの開発
P-18	清水将伍	早稲田大学	細胞シート工学を用いた機能的管状心筋組織の作製と機能評価
P-19	佐藤大夢	慶應義塾大学	創傷治癒モデルの構築と修復過程における引張応力の弛緩が与える影響
P-20	田中龍一郎	早稲田大学	ゼラチンゲルを用いたアルギン酸ゲルデバイスの作製

17:00 懇親会

主催 日本材料科学会（東京都千代田区四番町 8-1（株）裳華房内）
日時 2018 年 11 月 10 日（土）
会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 201 教室（〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1）
TEL : 03-5286-3871
東京メトロ副都心線「西早稲田」下車 徒歩 0 分

参加費 (1) 一般：10,000 円
(2) 学生(登壇者)：会員 2,000 円、
非会員大学院生 4,000 円、
非会員学部生 1,000 円
(3) 学生(非登壇)：1,000 円
(何れも上記のうち、1,000 円分が懇親会費)

問合先 日本材料科学会 インフォマティク・バイオマテリアル研究会 プログラム委員会
事務局
E-mail : mssj@shokabo.co.jp (送信の際には@を半角にして下さい)